取扱説明書

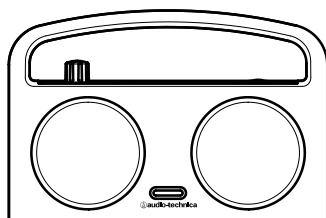
audio-technica

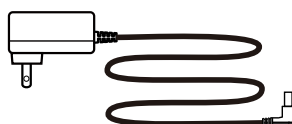
ワイヤレスステレオスピーカーシステム

AT-SP770TV

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

内容物を確認する

本製品をご使用になる前に、下記内容がすべてそろっていることを確認してください。万一、内容物に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社相談窓口（→8 ページ）までご連絡ください。

●スピーカー
（AT-SP770R）

●トランスミッター
（AT770TX）

●トランスミッター専用
ACアダプター
（AD-S720JKF）

●接続コード（1.0m）

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計をしていますが、使いかたを誤ると事故が起こることもあります。
事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

⚠危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが切迫して生じる可能性があります」を意味しています。
⚠警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

⚠警告

●心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以内の場所では使用しない
ペースメーカーが、本製品の電波の影響を受ける恐れがあります。

●本製品を医療機器の近くで使用しない
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。

●付属の専用ACアダプターおよび指定の別売ACアダプター以外は使用しない
事故や火災の原因になります。

●異常に気付いたら使用しない
異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがあったら、すぐにコンセントから抜き、お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに修理を依頼してください。

●分解や改造はしない
感電、故障や火災の原因になります。

●強い衝撃を与えない
感電、故障や火災の原因になります。

●濡れた手で触れない
感電やけがの原因になります。

●水をかけない
感電、故障や火災の原因になります。

●本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない
感電、故障や火災の原因になります。

●布などでおおわない
過熱による火災やけがの原因になります。

●同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない
事故や火災の原因になります。

⚠注意

●不安定な場所に設置しない
転倒などによりけがや故障の原因になります。

●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
故障、不具合の原因になります。

●火気に近づけない
変形、故障の原因になります。

●ベンジン、シンナー、接点復活保護液などは使用しない
変形、故障の原因になります。

安全上の注意

ACアダプターについて

⚠警告

●**AC100V以外の電源には使わない(日本国内専用)**
過熱による火災やけがの原因になります。

●**本製品以外には使用しない**
過熱による火災やけがの原因になります。

●**異常に気付いたら使用しない**
異常な音、煙、臭いやコードなどの発熱、損傷などがあったら、すぐにコンセントから抜き、お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに修理を依頼してください。

●**コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない**
過熱による火災やけがの原因になります。

●**コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む**
過熱による火災やけがの原因になります。

●**コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする**
断線、故障の原因になります。

●**コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない**
断線、故障の原因になります。

●**分解や改造はしない**
感電、故障や火災の原因になります。

●**強い衝撃を与えない**
感電、故障や火災の原因になります。

●**濡れた手で触れない**
感電やけがの原因になります。

●**布などでおおわない**
過熱による火災やけがの原因になります。

●**プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る**
過熱による火災やけがの原因になります。

●**ベンジン、シンナー、接点復活保護液などは使用しない**
変形、故障の原因になります。

⚠注意

●**長時間使用しないときは、コンセントから抜く**
省エネルギーにご配慮ください。

●**足に引っかかりやすい場所にコードを引き回さない**
故障や事故の原因になります。

●**通電中のACアダプターに長時間触れない**
低温やけどの原因になることがあります。

充電式ニッケル水素電池(スピーカー内蔵)について

⚠危険

●**付属の充電器以外で充電しない**
故障や火災の原因になります。

●**分解や改造、ハンダ付けはしない**
感電、故障や火災の原因になります。

●**コネクターを極性通りに入れる**
極性を間違えると、故障の原因になります。

●**火の中に投入しない**
破損や事故の原因になります。

●**液漏れした電池はすぐに取り出す、液は素手でさわらない**
発熱や、液漏れによる故障の原因になります。

・幼児がなめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、すぐに医師の診断を受けてください。
・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合はすぐに医師の診断を受けてください。
・目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、すぐに医師の診断を受けてください。

⚠警告

●**幼児の手の届く所に置かない**
電池を飲み込んだ場合はすぐに医師の診察を受けてください。窒息や胃などへの障害の恐れがあります。

●**外装チューブがはがれた電池は使用しない**
故障や火災の原因になります。

⚠注意

●**指定の電池以外使用しない**
故障の原因となります。

●**長時間使用しない場合は電池を取り出す**
液漏れなどによる故障の原因になります。

●**充電済みの電池と一度使用した電池、違う種類の電池を混ぜて使用しない**
液漏れなどによる故障の原因になります。

●**使用済みの電池は地方自治体の指定する方法で処分する**
環境保全に配慮してください。

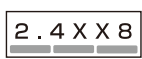
■お願い

ニッケル水素電池のリサイクルについて

ニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、コネクタ部分にテープなどを貼り付けて絶縁してから充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページhttp://www.baj.or.jpをご覧ください。

使用上の注意

本体について

●ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
●トランスミッターのACアダプタープラグの抜き差しは、電源を切ってから行なってください。
●本製品の電源を入れるときに、「ボッ」と音が出ますが故障ではありません。
●本製品の近くに発信機(携帯電話など)があるとノイズが入る場合がありますので離してご使用ください。
●汚れたときは電源プラグを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

ワイヤレス機器について

本製品は2.4GHzの周波数帯域を使用します。この周波数帯域を使用するほかの機器との電波干渉を避けるために、下記事項をお読みのうえ、ご使用ください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許が必要）、特定小電力無線局（免許が不要）、およびアマチュア無線局（免許が必要）が運用されています。

1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

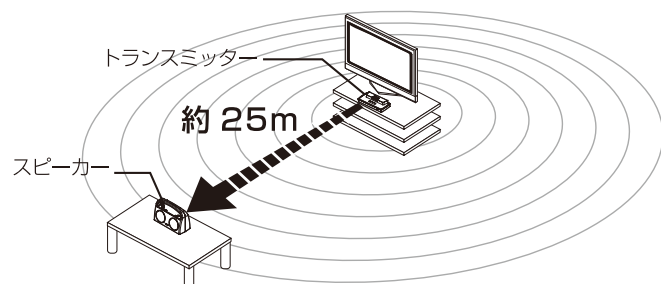
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに電波の送信を停止してください。そのうえで下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。

3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や、ご不明な点がございましたら、当社相談窓口（→8ページ）までお問い合わせください。

●本製品は日本国内でのみご使用いただけます。
●本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。無線局の免許は必要ありません。
●以下の行為は、法律で禁じられています。
- 分解や改造を行なう
- 本体に貼付の技術基準適合証明ラベル（ マークを含むラベル）をはがす

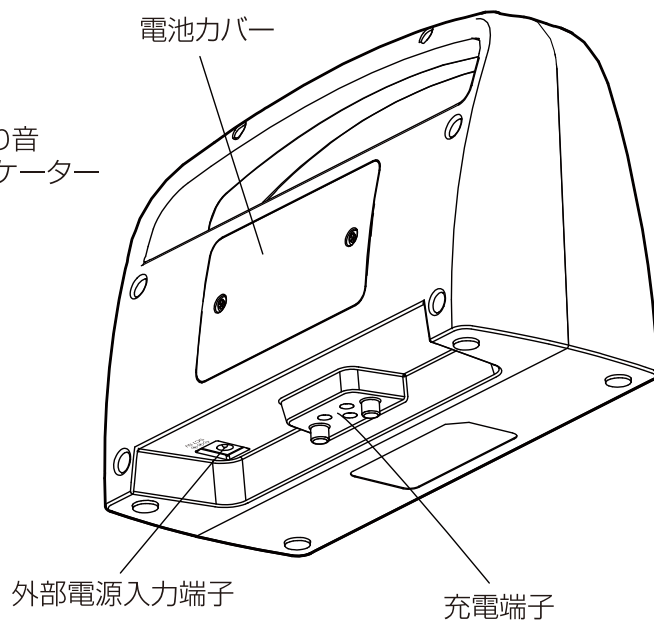
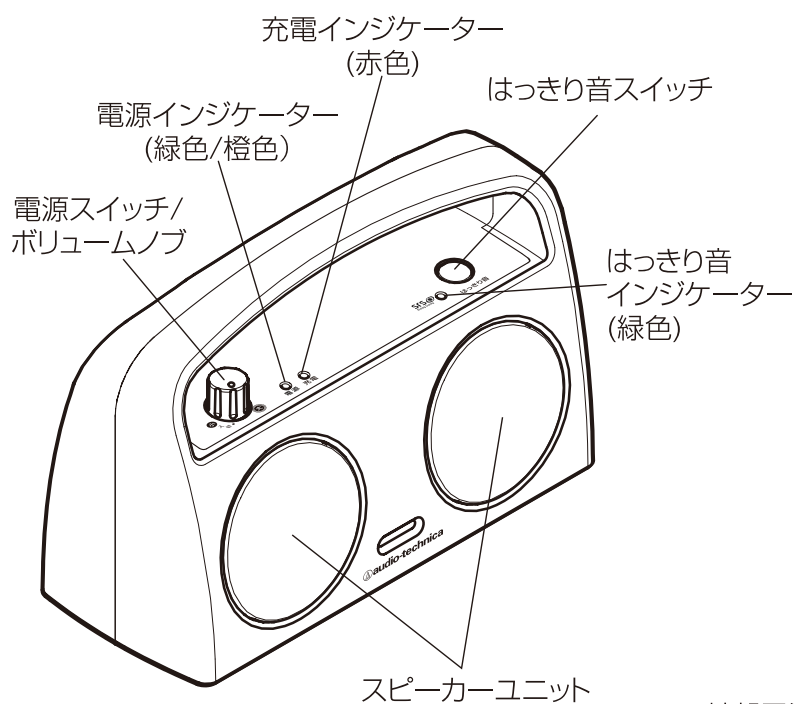
●本体の表示について
2.4XX8 この無線機が2.4GHz帯を使用し、変調方式はその他の方式、与干渉距離が80m以内、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能を表わします。
●使用可能範囲
トランスミッターから約25mの範囲でご使用いただけますが、トランスミッターとスピーカーの間に障害物がある場合や建物の構造などによっては使用可能な距離が短くなる場合があります。
●ほかの機器との影響
電子レンジ・デジタルコードレス電話・無線LANを使用する機器・Bluetooth搭載機器など、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れることがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性があるため、干渉しあう機器同士は離して設置してください。

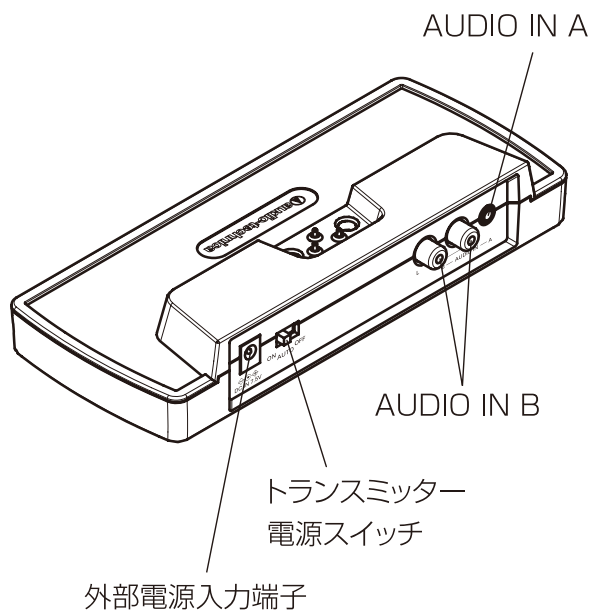
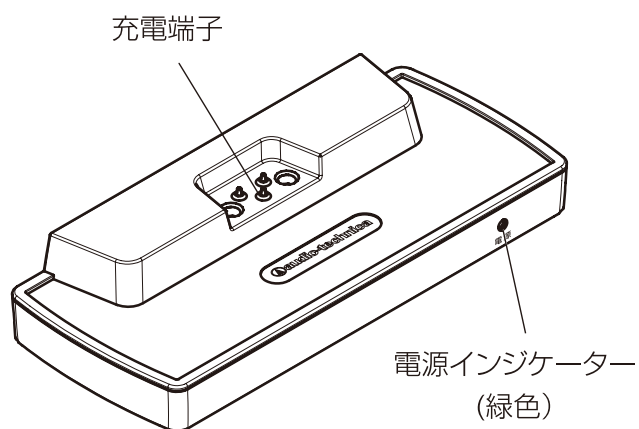
ワイヤレススピーカーシステムについて

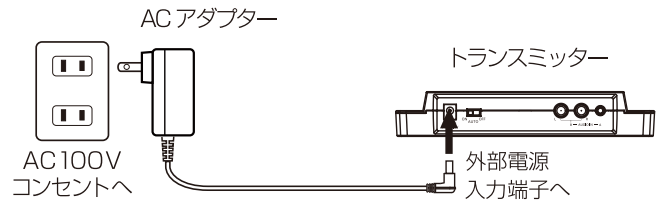
本製品はトランスミッターに接続した機器の音声をスピーカーへ無線伝送します。
伝送可能な距離は、トランスミッターから約25m*です。

* 電波の到達距離は、スピーカーとトランスミッターの周囲の建物の構造などによって変化します。スピーカーとトランスミッターの間に電波をさえぎるもの(金属の扉など)があると、到達距離が短くなります。また、トランスミッターは壁の近くなど電波を反射する場所、スチールラックの中など電波を放射しにくい場所を避けて設置してください。

各部の名称

スピーカー　AT-SP770R

正面／上部　　背面／底面

トランスミッター　AT770TX

正面／上部　　背面／上部

トランスミッターの接続のしかた

トランスミッターの電源が
「OFF」になっていることをご確認ください。
トランスミッターと付属のトランスミッター専用
AC アダプターを接続します。

テレビとの接続のしかた

テレビとの接続には使いたい場面にあわせて、以下の 2 種類の接続方法があります。
※接続するテレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

①本製品だけで音声を聞きたいとき（テレビから音声が出ません）

図 1 のように、付属のコードでテレビのヘッドホン端子と
トランスミッターの AUDIO IN B を接続してください。
テレビから音声が出なくなります。

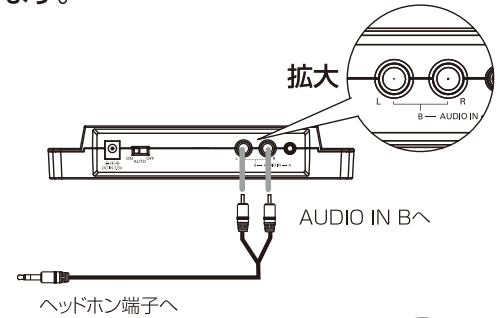
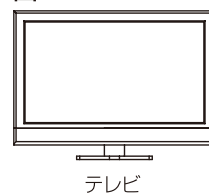
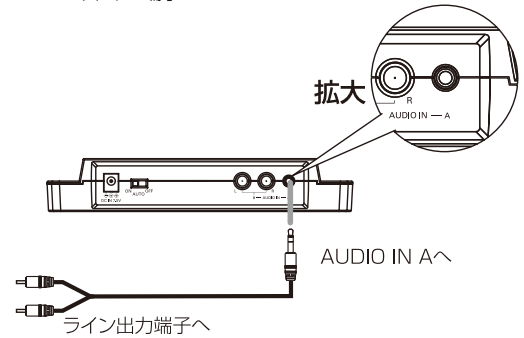
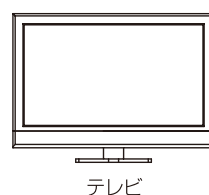
※モノラルテレビに接続したときは、右側のスピーカーの音が出ません。
両方のスピーカーで音を出したいときは、別売のモノラル－ステレオ
変換アダプターをお買い求めください。

②テレビと本製品の両方から音声を聞きたいとき

図 2 のように付属のコードで接続機器のライン出力と
トランスミッターの AUDIO IN A を接続してください。
テレビの音声も同時に聞くことができます。

※AUDIO IN A と AUDIO IN B の両方を同時に接続しないでください。
※付属品以外のコードで接続する場合は、
テレビのヘッドホン端子とトランスミッターの AUDIO IN A、
およびライン出力端子と AUDIO IN B をそれぞれ接続しないでください。
※テレビにライン出力がない場合は②の接続方法はできません。

その他の機器との接続のしかた

その他の AV 機器との接続には使いたい場面にあわせて、以下の 2 種類の接続方法があります。
※接続する機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

①スピーカーだけで音声を聞きたいとき（接続機器から音声が出ません）

図 3 のように、付属のコードで接続機器のヘッドホン端子と
トランスミッターの AUDIO IN B を接続してください。
テレビから音声が出なくなります。

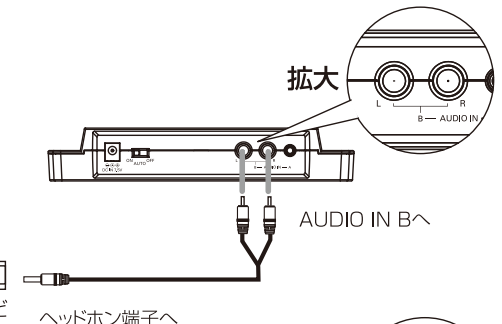
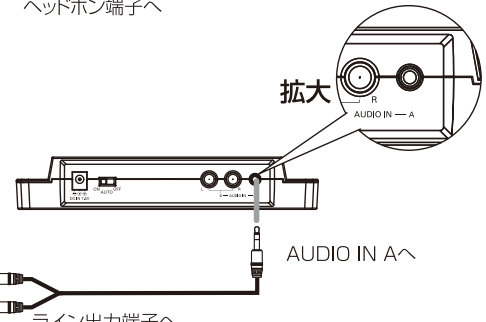
※モノラルの機器に接続したときは、右側のスピーカーの音が出ません。
両方のスピーカーで音を出したいときは、別売のモノラル－ステレオ
変換アダプターをお買い求めください。

②接続機器とスピーカーの両方から音声を聞きたいとき

図 4 のように付属のコードで接続機器のライン出力と
トランスミッターの AUDIO IN A を接続してください。
接続機器の音声も同時に聞くことができます。

※AUDIO IN A と AUDIO IN B の両方を同時に接続しないでください。
※付属品以外のコードで接続する場合は、
接続機器のヘッドホン端子とトランスミッターの AUDIO IN A、
およびライン出力端子と AUDIO IN B をそれぞれ接続しないでください。
※接続機器にライン出力がない場合は②の接続方法はできません。
※一部のテレビでは、HDMI入力端子がほかの機器と接続されていると、
②の接続方法では本製品の音声が出ない場合があります。
その際は、本製品のコードをテレビのヘッドホン端子に接続してご使用ください。

スピーカーを準備する（充電する）

本製品をお買い上げ時は、スピーカー（内蔵の専用充電池）は充電されておりません。
初めてご使用になる際は、スピーカーを充電する必要があります。

1.スピーカーの電源スイッチが、「切」になっていることを確認してください。
2.図1のように、トランスミッターの上にスピーカーを置きます。
3.トランスミッターの電源スイッチを「ON」にしてください。
充電が開始されるとスピーカーの充電インジケーター(赤)が点灯します（図2）。
4.充電時間は約2～3時間*です。
充電インジケーターが消灯し、充電完了となります。

＊スピーカーを充電完了にするための、目安の時間です。
前回充電した分の電池容量が残っている場合には、
短い時間で充電完了になります。

図1　スピーカーを トランスミッターの上に置く

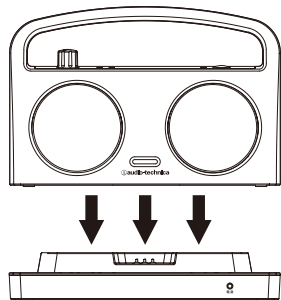
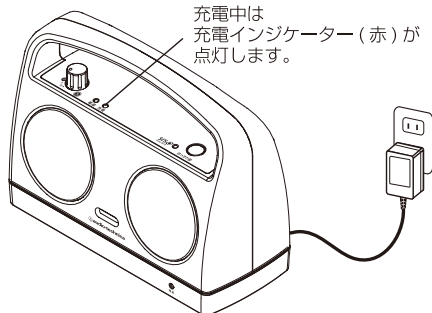



図2　スピーカー充電中

⚠注意

- 充電中はトランスミッターから電波は送信されません。スピーカーから音は出なくなります。
- トランスミッターの電源スイッチが「ON」になっているときに、充電ができます。「OFF」の場合には充電ができません。
- 充電が充分でないと音が歪む場合がありますが、故障ではありません。充電を完了させてからご使用ください。
- 完全に放電していない充電式電池を充電すると通常より早く充電が完了することがあります。
- スピーカーを充分に充電しても使用できる時間が短くなったときは、新しい電池と取り替えてください。
- 充電中はスピーカーや充電池が温かくなりますが、異常ではありません。また、充電終了直後は温度が高くなっていますので、 ご注意ください。
- 気温が5℃～35℃の所で充電してください。

使いかた

トランスミッターの電源を「ON」にする前に、
接続機器の音量を下げてください。
接続する機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

1. トランスミッターの背面にある電源スイッチを「ON」にしてください。
出荷時の電源スイッチは「OFF」の状態になっています。

2. 接続機器の電源を入れてください。トランスミッターをヘッドホン端子に接続している場合は、接続機器のボリュームを調整してください。

3. スピーカーをトランスミッターから外し、
スピーカーの電源スイッチ/ボリュームを右に回して電源を入れてください。
電源が入ると電源インジケーターが緑色に点灯します。

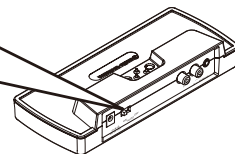
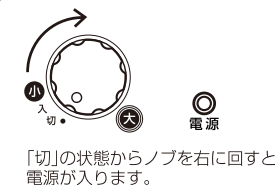
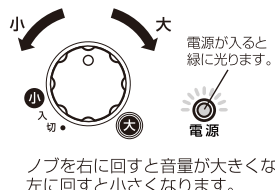
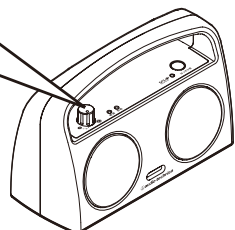
4. 電源スイッチ/ボリュームで音量を調整してください。

5. ご使用後はスピーカーの電源スイッチ/ボリュームノブを
左に「カチッ」と音がするまで回して電源を切ってください。
その後、電源インジケーターが消灯します。
トランスミッターの電源も切ってください。*

＊ヘッドホン端子やライン出力端子からの音声入力信号が約 10 分間無い場合に不要電波出力防止のため、自動的にトランスミッターの電波の送信を停止する機能を内蔵しています。再び音声信号が入力されると、自動的に電波の送信が開始され、通常の使用を行なうことができます。

※電池残量が少なくなると、電源インジケーターが緑色から橙色に変わります。
スピーカーの電源スイッチを「切」にして、トランスミッターの上に置いて充電してください。
⇒「スピーカーを準備する（充電する）」を参照ください。

トランスミッター 電源スイッチ

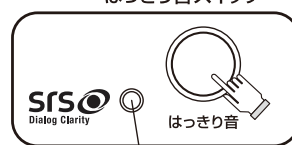
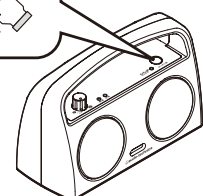
「OFF」の状態から左にスイッチを入れると電源「ON」になります。

スピーカー 電源スイッチ／ボリューム

「切」の状態からノブを右に回すと電源が入ります。

ノブを右に回すと音量が大きくなり、左に回すと小さくなります。

⚠注意

- トランスミッターのボリューム調整の際には、音が歪まない範囲で使用してください。
- 長い間使用しない場合は、トランスミッターのACアダプターをコンセントから抜いてください。

はっきり音機能

はっきり音スイッチを押すと、はっきり音インジケーターが緑色に点灯し、
台詞や音声を明瞭に聞くことができます。
＊はっきり音の効果には個人差があります。
＊はっきり音スイッチをもう一度押すと解除されます。

はっきり音は SRS Labs, Inc. が開発した SRS Dialog Clarity™ 技術を採用しています。
この技術は、人の声の領域の周波数を強調することにより、オーディオやサラウンド再生音の中で台詞を明瞭に聞くことができます。

はっきり音スイッチ

充電池（スピーカー内蔵）の交換のしかた

●充電しても、スピーカーの使用時間が短いままの場合は、
スピーカーに内蔵された充電池（RB-SP770H）を交換してください。
本製品をお買い上げいただいた販売店、
またはサービスセンター（→8ページ）でご注文いただけます。

1.スピーカーに専用のACアダプター（別売）* を接続している場合は、
ACアダプターを抜いてください。
＊「ACアダプター（別売）でスピーカーを使用する」をご参照ください。

2.プラスドライバーを用意してください。
図1のように、スピーカーの背面にあるビスを2本取り外し、
電池カバーを外してください。

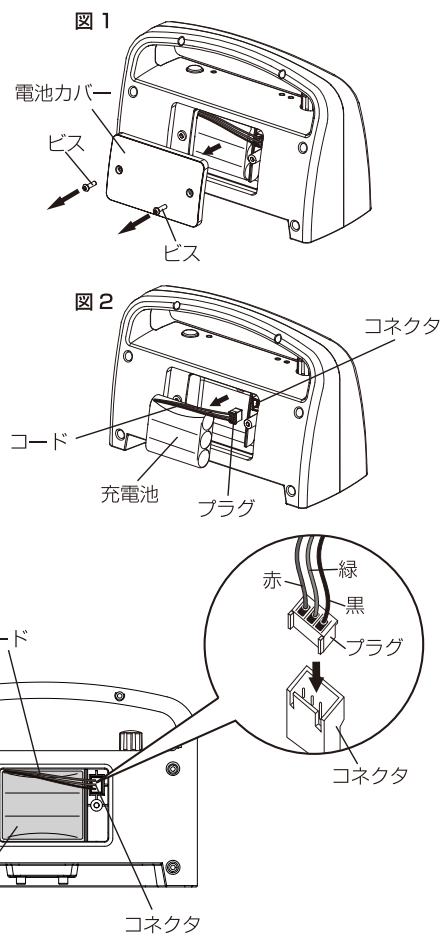
3.スピーカーから充電池を取り出し、プラグをコネクタから取り外してください。（図2）
※コードは引っ張らないでください。断線の原因となります。
必ずプラグを持って、コネクタを取り外してください。

4.取り外した充電池はリサイクルができます。充電式電池リサイクル協力店に
お持ちください。
※詳細については、2ページの「ニッケル水素電池のリサイクルについて」を
お読みください。

図 3
赤
緑
黒
プラグ
コード
コネクタ
充電池
コネクタ

5.図3のように、スピーカーのコネクタに新しい充電池のプラグを
差し込んでください。
※プラグは奥まで確実に差し込んでください。

6.スピーカーの電池ケースに充電池を入れてください。
※図3のようにコードは電池の上部に配線してください。

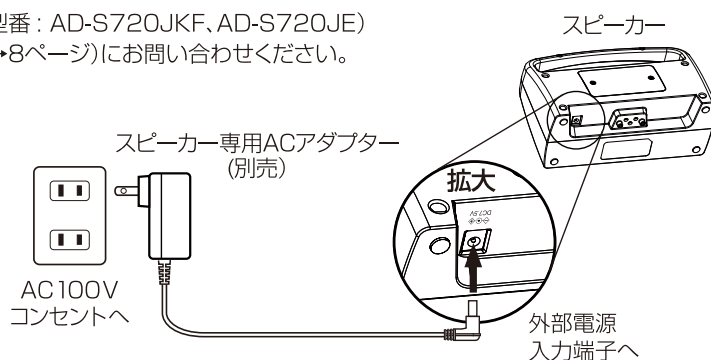
7.電池カバーを取り付けて、ビスを閉めてください。
※コードを電池カバーで、はさまないように注意してください。

※コネクタとプラグを逆向きに接続することはできません。

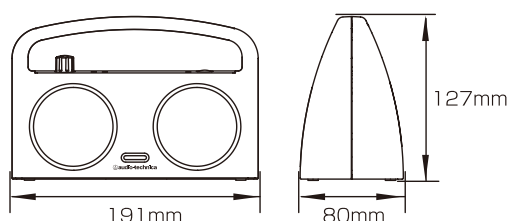
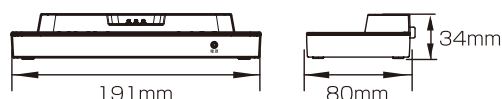
AC アダプター（別売）でスピーカーを使用する

**別売のスピーカー用ACアダプターを使用すれば、トランスミッターに置いて充電することなく、
常に手元でスピーカーを使用できます。**

1. AC アダプターは以下の型番のものをご使用いただけます。（型番 : AD-S720JKF、AD-S720JE）
お買い求めいただく際は販売店、または当社サービスセンター（→8ページ）にお問い合わせください。

2.図のように、スピーカー底面にある外部電源入力端子にプラグを
差し込んで、コンセントにACアダプターを接続してください。

＊接続中は、本体の充電インジケーター（赤色）が点灯し充電されます。
充電が完了すると充電インジケーターは消灯します。
充電中でもスピーカーから音声が出ます。
また、ACアダプターを持続したままでも、過充電にはなりません。

外形寸法図

スピーカー　AT-SP770R

トランスミッター　AT770TX

故障かな？と思ったら

症状	確認事項	参照
Q. 音が出ない	A1. トランスミッターと接続機器が正しく接続されていますか？ →トランスミッターと接続機器の接続を確認してください。	5 ページを参照ください。
	A2. 接続した機器の電源が入っていますか？ →電源を入れてください。	6 ページを参照ください。
	A3. スピーカー、トランスミッターの電源が入っていますか？ →電源を入れてください。	6 ページを参照ください。
	A4. 接続した機器が再生していますか？ →再生してください。	6 ページを参照ください。
	A5. 接続した機器のボリュームが下がったままではありませんか？ →ボリュームを調整してください。	6 ページを参照ください。
	A6. スピーカーの電源インジケーターが消えていませんか？ →充電してください。	6 ページを参照ください。
	A7. モノラルの機器に接続していませんか？ →トランスミッターをモノラル機器に接続する場合、右スピーカーの音が出ませんので、その場合は市販の変換プラグアダプター（φ3.5mm ステレオミニジャック⇔φ3.5mm モノラルミニプラグ）をお買い求めください。	5 ページを参照ください。
	A8. ご使用のテレビが、ほかの機器と HDMI 接続されていませんか？ →本製品のコードをテレビのヘッドホン端子に接続してご使用ください。	5 ページを参照ください。
Q. 音が途切れる	A1. 接続した機器のボリュームを下げすぎていませんか？ →接続機器のボリュームが低いと、ノイズが発生することがあります。接続機器のボリュームを上げてください。	6 ページを参照ください。
	A2. 周囲に 2.4GHz 帯の電波を使用する機器がありませんか？ →電波が干渉しています。2.4GHz 帯の電波を使用する機器からできるだけ距離を離して設置してください。	3 ページを参照ください。
	A3. スピーカーの電源インジケーターが消えていませんか？ →充電してください。	6 ページを参照ください。
	A4. スピーカーのボリュームを上げすぎていませんか？ →接続機器のボリュームを上げ、スピーカーの音量を下げてご使用ください。接続機器を調整して歪まないところでお聞きください。	6 ページを参照ください。
	A5. 接続した機器のボリュームを上げすぎていませんか？ →接続機器のボリュームを下げてください。	6 ページを参照ください。
	A6. プラグが接続した端子から外れていませんか？ →確実に接続してください。	5 ページを参照ください。
Q. ノイズが入る	A1. 周囲に 2.4GHz 帯の電波を使用する機器がありませんか？ →電波が干渉しています。2.4GHz 帯の電波を使用する機器からできるだけ距離を離して設置してください。	3 ページを参照ください。

テクニカルデータ

●トランスミッター　AT770TX

変調方式	：その他の方式
送信周波数帯	：2.4GHz帯
到達距離	：約25m
電源	：DC7.5V（付属のACアダプターを使用、日本国内専用）
入力端子	：ライン入力：AUDIO IN A（φ3.5mmステレオミニジャック） ：ヘッドホン入力：AUDIO IN B（RCAステレオピンジャック）
外形寸法	：H34mm×W191mm×D80mm
質量	：約 190g

●付属品

接続コード 1.0m（φ3.5mmステレオミニプラグ ⇔ ピンプラグ×2）、
トランスミッター専用ACアダプター(AD-S720JKF)

●スピーカー　AT-SP770R

型式	：アンプ内蔵スピーカーシステム
電源	：専用ニッケル水素充電池
連続使用時間	：約12時間（専用充電池 5mW+5mW時）
スピーカー	：φ40mm×2
実用最大出力	：1W+1W
外形寸法	：H127mm×W191mm×D80mm
質量	：約 630g

●別売品

スピーカー用ACアダプター：AD-S720JKF、AD-S720JE

修理について

本製品の修理をご依頼される際は、
スピーカーとトランスミッターの両方をお預けください。

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先（電話受付／平日9：00〜17：30）
製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

●相談窓口（製品の仕様・使いかた） 0120-773-417
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0211）
FAX：042-739-9120　Eメール：support@audio-technica.co.jp

●サービスセンター（修理・部品） 0120-887-416
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0212）
FAX：042-739-9120　Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp

●ホームページ　（サポート）
www.audio-technica.co.jp/atj/support/

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市成瀬2206　http://www.audio-technica.co.jp

232304010D